

# 追憶の記

藤内金次

店が京町の新館に移ってから外国電信部は正面玄関の真上に在り、二階の窓から下を覗くと出入りの人々の頭や顔がよく見えた。

お家さん、御主人、金子さん、柳田さん等がお越しになると、北の辻の角から自動車のクラクションで先ず知らせることになっていった。一つが誰さん、二つが誰方と玄関受付では、その警笛で判っていたらしい。

お家さんがお越しになると玄関の扉が全部開かれて受付主任の松本三平さんが、三人のぼんさんを従えて道路に出迎えるのである。車が止まるとすぐかけよってドアを開ける。手提げ袋を受取り、お家さんが地上に降り立られると、その後から五、

謝御見舞  
去る七月九日夕方から夜にかけての豪雨は当地方に襲来、多大の被害を蒙りましたが、早速各位より懇切なる御見舞を賜り有難く茲に深甚の謝意を表します  
辰巳会本部

六歩の間隔を置いて松本さんが低頭しながら、ついて階段を昇って行くのである。

三人のぼんさんは車から大手の別荘の温室で咲いた洋花のいっぱい詰った大きな盥を持って松本さんの後からついて行く。程なく各部の部屋に赤、青、黄と、色とりどりの美しい洋花が配られて私達の部屋がパッと明るくなり、仕事の疲れもとれて今日の花の名を当てあったものである。

お家さんがお店へ来られる毎に四季それぞれの花を持って来られ、四階建の社屋の各部室に下されたことは、本店に在動した皆さんは懐かしい思い出の一つだったでしょう。

大正九年の八月初め、暑い日のことである。外電の翻訳文を金子さんの部屋へ届けて廊下を急ぎながら角を廻ったとたん、人におつつかって了った。ハツとして驚いたことに私は、お家さんを突飛ばしていたのである。「気をつけんかい」と松本さんの叱声に慌てて近より、抱え起し

たのであるが、廊下にリノリュームの油が塗られたところだったので、草履を穿いておられたお家さんが、出合頭の衝突に滑って転ばれた次第である。私は日やけた顔を真っ赤にして平身低頭あやまった。全身汗びっしょり。

お家さんは「よろしい、よろしい」と仰っしゃって松本さんを従えて廊下を右へ廻り其のまま自室にお入りになった。  
紹の羽織も、惟ら<sup>かたむ</sup>の着物も油污れしたことを思うと、じっとして居られず、書類を置くと直ちにお部屋へ参上し、改めてお詫びを言上した。「冷汗三斗」恐懼した私の思い出である。

蒸し風呂ばかりは入られる金子さんが、年末に湯風呂には入られて風邪をひかれ、お正月から暫らく静養されたことがある。

金子さんの蒸し風呂好きは有名であったが、新聞のニュースに書かれたことも、確かこの年のことであった。

今の様なスチームバスが其頃出来ていたなら、金子さんは専ら利用された年中お肌に着用された懐炉も無用だったかも知れない。

木村喜之助さんの牛肉好きは大変なもので、三日に一度は私を連れて元町の「みつわ」で昼食を採ったことである。

私が箸箱を持って食堂へ行こうとすると、「筒井君待て」と云われて「みつわ」へお伴をするのが常であった。当時、一人前が金二円だったから、いつも五円払われて、仲居さんのお愛想のよい声に送り出され、一時迄に帰店するのである。

天王寺中学を卒業された木村さんは、大阪出身の私を特に可愛がって下された。大阪角力の大関大錦卯一郎は中学の同期であることも「みつわ」の二階で、すき鍋をつつきながら聞かされたのである。

中学卒丈であれ程の語学堪能な方も少なかったことで、私にも勉学の志操を持つようになったのも木村さんの感化である。

辰巳会でお合いしてから、鈴木時代の写真を拡大して、色づけ肖像画にして贈ったので、丁度七十七の喜寿祝の直前だったので非常に喜ばれて当日飾って若き頃を偲ばれ盛大に慶祝された由、お礼状を頂いたが故人になられた今日、数々の思い出は尽きないのである。

## 神戸港百年のあゆみ (年表)

明治元	1868	兵庫開港(1月-慶応3年12月)開港式を挙行 兵庫裁判所を廃し兵庫県をおく(5月) 初代知事 伊藤博文	神戸事件発生 神戸の人口 23,712人	8年	1933	兵庫突堤完成(11月) 第1回みなとの祭挙行(11月)	
4年	1871	初代港長にジョン・マシヤル(英人)任ぜらる(2月) 和田岬灯台建設(4月)		10年	1935	中突堤完成(3月)	
6年	1873	運上所を神戸税関と改称(1月)		11年	1936	神戸港出入港船舶数最高となる(54,145隻9,860万トン)	2.26事件おこる
7年	1874	神戸、兵庫に区役所を設置(4月)	神戸大阪間鉄道開通	12年	1937		日華事変はじまる
12年	1870	新たに神戸区設置		13年	1938		阪神間大水害
22年	1889	神戸に市制施行(4月)	神戸市の人口 13万5千人 新橋~神戸間鉄道全通	14年	1939	神戸港第2期修築全工事完成(5月)	神戸市の人口 100万人をこえる
32年	1899	居留地租借権解消(3月) 兵庫運河完成(12月)	日本最初のベスト神戸で発生	16年	1941	神戸移住教養所閉鎖(6月) 第1回海の記念日挙行(7月)	第2次世界大戦はじまる
33年	1900	蒨島埋立完成(1月)		18年	1943	神戸税関閉鎖(11月~神戸海運局に統合)	
36年	1903	神戸港沖で観艦式(4月)	神戸市の人口 13万5千人	20年	1945	空襲により各施設に甚大な被害(3月6日港湾施設などほとんど接收(9月))	終戦 人口37万9千人に激減
37年	1904		日露戦争はじまる	21年	1946	神戸税関再開(6月) 兵庫突堤基部接收解除(11月)	食糧危機激化
40年	1907	神戸港 第1期修築工事着工(9月)	市章山植樹、神戸市の人口 36万4千人	22年	1947	兵庫第1第2突堤接收解除(2月)以後順次解除さる	第1回市長公選 人口60万7千人
41年	1908	神戸港沖で観艦式(11月)	錨山植樹	23年	1948	民間貿易再開許可さる(8月)	
43年	1910		日露戦争はじまる	25年	1950	港湾法公布施行(5月) 第5管区海上保安本部設置(6月)	神戸博ひらく、朝鮮動乱はじまる、神戸国際港都建設法制定
大正2年	1913	第1突堤(8月)および第4突堤(11月)完成		26年	1951	神戸市、神戸港の港湾管理者となる(4月) 神戸港は特定重要港湾に指定(9月)	人口 86万2千人
3年	1914	第3突堤完成(9月)	神戸電気鉄道KKにより春日野~兵庫間に市街電車開通、のち市営となる	27年	1952	灘埠頭完成(3月) 第1回国際港湾会議神戸でひらく(10月) 神戸移住あっせん所再開(10月) 第7突堤着工(12月)	講和条約発効
6年	1917	防波堤築造はじまる。この工事は第2期修築工事にあふくまれる	市街地電車、電灯事業が市営となる	28年	1953		市立中央市民病院開設
7年	1918		米騒動おこる	29年	1954	東部埋立工事はじまる(3月) 第8突堤(西)着工(4月)	第1回海の女王選定
8年	1919	神戸港第2期修築工事着工(7月)	コレラ、天然痘大流行	30年	1955	外国貿易量戦前を越す	
9年	1902	第2突堤完成(6月)	神戸市の人口 60万9千人	31年	1956	第7突堤サイロ完成(5月)	国民体育大会神戸で開催六甲一帯国立公園となる人口再び100万人突破
11年	1922	神戸港第1期修築全工事完成(7月)		32年	1957	西部海面埋立工事はじまる(4月)	市役所庁舎花時計完成シアトル市と姉妹都市となる
12年	1923	神戸港内務省から重要港湾に指定(8月)	関東大震災	34年	1959	摩耶埠頭に着工(10月)	
13年	1924	開港港則改正、神戸港の境界拡張(3月)神戸海洋气象台設置(4月)	市立神戸診療所開設	36年	1961	鶴甲山ベルトコンベヤー運転開始(4月)	マルセーユ市と姉妹都市となる
昭和2年	1927		恐慌おこる、阪神国道開通	38年	1963	神戸ポートタワー完成(11月)	
5年	1930	神戸港の貿易額全国首位 神戸港沖で観艦式(10月)	市営バスが営業を開始	39年	1964	須磨ベルトコンベヤー土運船の運転開始(1月)	東京でオリンピック開催
6年	1931	8区役所ひらく(9月)	満州事変はじまる	40年	1965	兵庫第3突堤完成(10月)	台風により西神戸地区高潮被害
7年	1932	突堤の名称変更(従来東から起算した名称を西から第1第2...突堤とする)	神戸市の人口 83万7千人	41年	1966	ポートアイランド着工(4月) 摩耶大橋完成(5月)	高速道路1号線開通
				42年	1967	摩耶埠頭埋立完成(3月) 開港100年祭挙行 ロッテルダム港と姉妹港となる(5月)	人口 123万人